

地域発 元気づくり支援金 R1実施事業検証一覧表

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
1	住民による国際協力活動の次世代への継承事業	交流と学びの会(飯田市)	・飯田市で20年前から実施されている国際協力事業を次世代に引き継ぎ、継続していくため、国際協力事業に関する記録集(300部)を作成した。 ・記録集を活用した学習会を開催した。 ①印刷費、講師謝礼、講師旅費	444	332	20年間の活動を記録集として残すとともに、講演会や学習会を開催し、自治意識の向上を図った。 引き続き、学習会や他団体との連携により、活動の充実や次世代への継承に取り組みられることを期待したい。
2	住民主体による地域づくり 心も体も健康プロジェクト	郷原を楽しむ会実行委員会(松川町)	・主体的に地域づくりを行い、地域運営を維持していくことを目的に、健康寿命延伸の住民向けサロン活動を実施するほか、健康な食生活について講演会を開催した。 ・住民による景観に配慮した色のガードレール塗装を実施した。 ①講師謝礼、チラシ代、薬草苗代、塗料代	693	519	住民が主体となって健康づくりや景観形成に取り組んだ。 今後も、住民の自主的な活動を継続し、地域を元気にしていきたい。
3	スポーツ食育普及事業	飯田女子短期大学(飯田市)	・健康的な体づくりのための食の大切さを伝えることを目的に、小中学生や高校生、その保護者を対象にスポーツ食育に関する調理実習や講演会を実施した。 ・高校を対象としたスポーツ食育の出前講座を実施した。 ①チラシ代、レシピ印刷、食材費 ②体組成計	864	656	成長期のスポーツ選手を対象とした食育事業を実施した。 スポーツ食育を普及させるため、今後も講座等を継続していただきたい。
4	高齢者の高齢者による高齢者のための介護講座	飯田女子短期大学(飯田市)	・元気な高齢者のフレイル化予防や、高齢者等の介護負担の軽減を目的に、介護予防教室を開催した。 ・介護事業所や一般住民向けの介護講座を実施した。 ①介護講座用品、傷害保険 ②スタンディングリフト	632	478	地域の60歳以上の方に介護予防を学んでもらい、身体的フレイルを予防するための運動と健康チェックを行った。 引き続き講座を実施し、介護予防の啓発や負担の少ない介護方法の普及に努めていただきたい。
5	人生100年時代！健康寿命延伸マレットゴルフ事業	松尾マレットゴルフ同好会(飯田市)	・地域住民の健康寿命延伸を目的に、保健師と連携し、マレットゴルフを通じた健康運動事業を実施した。 ・住民によるマレットゴルフ場の増設を行った。 ②コース増設原材料等	1,714	1,080	マレットゴルフ場のコースを増設し、健康延伸のための取組を行った。 高齢者だけでなく、子供や身体の不自由な方など、幅広く利用されることが期待できる。
6	新しいステージ創出大作戦in丘フェス	飯田丘のまちフェスティバル実行委員会(飯田市)	サブカルチャーにより飯田市の中心市街地を活性化させることを目的とし、国際声優コンテスト「声優魂中部大会in丘フェス」を開催し、11月の丘のまちフェスティバルに向けた新たな賑わいを創出した。 ①ゲスト声優出演料、動画制作、台本作成、HP作成、チラシ代、CM宣伝	3,148	2,312	飯田丘のまちフェスティバルの新しいステージとして、中高生を対象とした声優コンテストを開催した。 今後も、幅広い世代が楽しめるような企画を実施し、地域を盛り上げていただきたい。
7	ようこそ、歌舞伎の世界へ 歌舞伎の魅力発信事業	舞台芸術鑑賞事業企画委員会(飯田市)	・南信州地域に芸能・伝承芸能ファンを増やし、次世代に繋げていく機運の醸成を目的に、松竹大歌舞伎巡業公演を誘致するとともに、地域の中小学生や高校生を招待し、歌舞伎に親しむ機会を作った。 ・保存会員や地域住民を対象とした歌舞伎講座を開催した。 ①大歌舞伎公演、講座開催事業	11,277	590	歌舞伎を「観る」をテーマに、昨年に引き続き、伝統芸能への興味・関心を高めてもらう取組を行った。 今後も伝統芸能の振興や後継者育成の取組を継続していただきたい。
8	科学実験教室「超低温の不思議な世界&リニア」	南信州飯田おもしろ科学工房(飯田市)	科学技術やものづくりへの興味や探究心を高めてもらうことを目的とし、超伝導体とネオジウム磁石を活用した超伝導の科学実験教室を実施した。 ①実験用具、チラシ代	917	649	昨年に引き続き、液体窒素を使った実験やリニア新幹線の原理を学ぶ科学実験教室を開催した。 学校や地域と連携し、リニアを軸とした理科実験教育が広がっていくことを期待する。
9	生涯学習・研究活動の発表の場としての会食コンサート	飯田女子短期大学(飯田市)	飯田女子短期大学や当地域の高等学校の軽音部、調理部に所属する学生・生徒が、日ごろの成果を発表し、音楽文化、食文化の交流学習を行うため、飯田女子短期大学でロックコンサートと料理コンテストを組み合わせたイベントを実施した。 ①可動式簡易ステージ、広報費	771	578	昨年に引き続き、短大生や高校生の文化活動の発表と地元食材を使用した料理を同時に楽しめるロックフェスを開催した。 今後も地域住民の活動発表や世代間交流の場となるような取組を期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
10	南信州お仕事キッズタウン事業	南信州青少年育成プロジェクト(飯田市)	南信州の子どもたちが将来この地域で働き、住み続けたいと思う契機とするため、地域の仕事を知ってもらうイベント「お仕事キッズタウン」を開催した。 ①チラシ代、パンフレット代、会場費、イベント保険	1,802	1,351	昨年に引き続き、子供向けの職業体験イベントを実施した。将来の地域の担い手確保のためのキャリア教育として重要な取組であるため、運営体制や資金面を工夫し、継続していただきたい。
11	伊賀良ふるさと教材製作事業	伊賀良まちづくり協議会(飯田市)	・子どもたちが地域を深く学ぶことができる機会作りを目的とした学習教材を制作した。 ・制作した教材は伊賀良小学校児童を中心に配布し、夏休みや小学校クラブ、出前講座など教材を活用した学習会を開催した。 ①印刷製本費	3,130	2,310	伊賀良地区の歴史や魅力をまとめた学習教材を制作し、小学校の授業で活用した。小学校をはじめ、公民館や図書館等とも連携し、継続的に活用してもらいたい。
12	ひさかた和紙の継承・発展を軸とした地域内外の交流促進事業	ひさかた和紙保存会(飯田市)	・三遠南信自動車道の供用開始やリニア開通後を見据え、和紙を活用した交流人口の増加を目的とした和紙漉き体験講座を実施した。 ・和紙づくりの技術向上やブランド化のため、先進の紙漉き技術習得のための視察を行った。 ・和紙体験の参加者に対して紙漉きの手順マニュアルを作成した。 ①マニュアル整備、視察研修費、ワークショップ材料 ②乾燥機	1,394	1,045	ひさかた和紙の保存伝承のため、材料づくり体験や紙漉き体験を実施した。地域内外の参加者が増加し、ひさかた和紙が地域の新たな産業として発展することを期待する。
13	「人魚姫」の復活による若者世代への人形劇活動普及事業	特定非営利活動法人いいた人形劇センター(飯田市)	・いいた人形劇センター初プロデュース作品「人魚姫」を復活させ、いいた人形劇フェスタで再公演するとともに、今後継続的に公演できる体制づくりや人材育成を目的とし、キャスト・スタッフの募集、演出家等による稽古や演技力向上のワークショップを実施した。 ・いいた人形劇フェスタや、下條村での公演を開催した。 ①演出料・監督料、美術料、講師謝礼、講師旅費、チラシ代	1,737	1,157	舞台作品「人魚姫」を市民と協働して復活させ、人形劇活動の普及と人材育成に取り組んだ。人形劇に興味を持つ人や講座に参加する人が増え、活動が継続されることを期待する。
14	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興	南信州複合芸能文化の会(阿智村)	伝統芸能の獅子舞、人形劇、現代のサブカルチャーといった当地域の文化の要素をすべて取り入れた複合芸能「南信州天昇オロチ」の演舞を、飯田市で行われる人形劇フェスタ、飯田丘のまちフェスティバル、南信州獅子舞フェスティバル等に参加し実施するとともに、小型版の獅子舞を制作し、管内保育園・小学校へ出張上演を行った。 ①台本制作、デザイン費、舞台演、演舞指導 ②獅子頭制作、獅子舞制作	2,409	1,844	昨年に引き続き、伝統芸能と現代文化の複合芸能「南信州天昇オロチ」を各種イベントや教育施設で上演した。今後も、地域の伝統芸能の魅力発信や、継承者の育成等の取組が継続されることを期待する。
15	平谷村型「信州子どもカフェ」推進事業	平谷村教育委員会	・子どもたちが孤立することなく安心して居られる場所づくりや学習支援、子育て世代家庭の支援を目的として、子どもカフェを設置した。 ・設置する子どもカフェには①学習支援、②悩み相談、③イベントと遊びの広場、④長期休暇の一時預かりの機能を持たせている。 ①学習机・イス、ホワイトボード、電子レンジ、掃除機・加湿器等、プログラミング用モニター ②棚、暖房機、エアコン	2,638	2,017	子供たちにとって心の拠り所となる居場所「ひらひら平谷」を設置した。子供や子育て世代の親はもちろん、地域住民の交流の場となる環境が整備された。より多くの方に利用され、みんなの居場所として機能することを期待したい。
16	大鹿歌舞伎体感伝承活用事業	大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)	大鹿歌舞伎の魅力を広く発信し、保存伝承するための各種事業に取り組んだ。(1)中学生や小学生対象の公演(2)「大鹿歌舞伎の歴史」をテーマにした講演会、体験ワークショップ(3)高速バスラッピング(4)歌舞伎用具の新調 ①音響委託、講演会講師謝金、高速バスラッピング ②歌舞伎衣装、かつら、小道具	3,335	2,541	昨年に引き続き、大鹿歌舞伎の保存伝承のためのワークショップ等を行った。今後も、大鹿歌舞伎の魅力を発信するとともに、次世代への伝承活動を継続していただきたい。
17	大鹿村の食ごよみ作成事業	大鹿村食生活改善推進協議会	・健康課題である脳血管疾患・メタボ・血糖値上昇予防や、村内の若い世代の食生活改善を目的とし、大鹿村の郷土料理に関するレシピ集を制作した。 ・乳幼児・小学生とその保護者を対象としたレシピ集料理を活用した調理教室を実施した。 ①レシピ集製本代、調理実習食材	377	301	郷土料理の伝承と食生活の改善を目的として、レシピ集の作成と調理実習を行った。レシピ集を活用し、郷土料理の伝承や健康的な食生活の啓発を継続していただきたい。
18	南信州民俗芸能継承推進事業	南信州民俗芸能継承推進協議会(飯田市)	貴重な資産である南信州の伝統芸能を継承するための各種事業に取り組んだ。(1)強化月間を設け、集中的、効果的な啓発活動を実施、(2)情報発信環境の整備、(3)啓発グッズの製作と活用、(4)企業との協力体制の構築及び充実 ①アドバイザー謝金、発表会出演団体への謝金、新聞・チラシ広告、ホームページ更新、ピンバッジ制作等	1,969	1,434	昨年に引き続き、官民一体となって民俗芸能の継承推進に取り組んだ。民俗芸能への関心を高めてもらうための取組や、担い手の確保・育成を継続していただきたい。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
19	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会	阿智村清内路の手作り煙火を中心に南信州の花火文化を調査し、文字と映像で記録した。地元で聞き取り、文献調査、動画撮影、写真撮影を行い、学習会を開催。花火文化の保存継承に取り組んだ。 ①専門家謝礼、専門家旅費、映像制作委託費、報告会印刷製本費	3,123	2,000	昨年に引き続き、南信州の煙火文化の保存伝承に取り組んだ。制作した映像や報告書を有効に活用し、地域の民俗文化への関心を高める取組を継続していただきたい。
20	災害伝承絵本作等事業	飯田市	・昭和44年8月に発生した土石流災害の記録を伝え、伝承していくことで防災意識を高め、災害を風化させないことを目的とし、災害伝承絵本を制作した。 ・各地区の公民館や集会所、学校等で出前講座を実施し、絵本や紙芝居を活用し災害史実について伝承活動を行った。 ①絵本制作	1,540	1,209	防災意識を高めるため、実際に起きた災害をもとにした絵本を制作し、学校等で出前講座を実施した。制作した絵本を防災教育教材として有効に活用し、災害の伝承と防災意識の啓発推進に努めていただきたい。
21	保育に関わる人のための安全対策講座	飯田女子短期大学(飯田市)	昨年発生した園外保育中の園児の死亡事故を受け、南信州地域の保育士を対象とし、保育の安全に関する意識・スキル向上を目的とした安全対策講座を実施した。 ①チラシ代、テキスト代、講習用用具、ダミー人形、AEDレンタル	556	390	保育における危険予知・回避の方法や応急手当等を学ぶ講座を開催した。引き続き講座を開催し、保育に関わる方の安全意識の向上に役立てていただきたい。
22	駒場線へとつながる西部交通ネットワークの再構築からまちづくりへと連携する事業	阿智村	下伊那西部3村と飯田市を結ぶ唯一の公共交通である駒場線に接続されている伍和東路線について、地域住民のニーズに合わせた路線に再編成するための調査と住民によるワークショップを踏まえ、路線を再構築した。 ①見直し支援委託費	2,420	1,668	地域公共交通の路線の見直しと、啓発活動(乗車体験イベント)を実施した。各地区の意見を聴取し、住民ニーズに沿った交通ネットワークの再構築を行うことができた。
23	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト	丸山まちづくり委員会(飯田市)	飯田市丸山地区が風越山を中心とした地域づくり、将来にわたって住み続けたいと思える地域づくりのための各種事業に取り組んだ。(1)ヤマザクラ育苗管理・山林整備(2)ブルーベリーの圃場整備、育成管理、収穫体験(3)森林体験イベント(4)携帯トイレ普及啓発(5)学習会の実施(6)各種イベントへの参加・協力 ①山林整備作業費、ブルーベリー防鳥ネット、森林体験謝礼、携帯トイレ関連、花苗の配布等	713	534	昨年に引き続き、風越山を中心とした地域づくり活動を実施した。今後も住民が一体となって魅力的な地域づくりに取り組んでいくことを期待する。
24	さくら並木をいつまでも元気にする管理事業	龍江天龍峡桜街道さくら並木愛護会(飯田市)	・飯田市龍江地区の桜街道を今後長期的に桜並木を管理し、次の世代へ桜並木を残すことで当地域への観光誘客を促進することを目的とし、剪定・消毒作業を実施した。 ・愛護会のメンバーが管理研修を受講し、管理方法を学ぶとともに年間管理計画及び苗木育成計画を策定した。 ①研修視察、講師謝礼、看板設置 ②剪定委託、消毒作業委託	1,568	959	平成10年に植栽した桜並木の弱体化を防止するため、剪定や消毒を行った。美しい桜並木がいつまでも維持できるよう、適切な管理を継続していただきたい。
25	「遠山郷花街道」整備事業	遠山郷10団体連絡会議(飯田市)	・三遠南信自動車道の現道活用区間の3箇所に花桃を植栽し、開花時期の差で長期間の誘客を目指すとともに、植樹祭を実施した。 ・各種イベントとの連携による植樹イベントを実施した。 ①植樹祭苗木 ②花街道整備	4,680	3,126	昨年に引き続き、三遠南信自動車道沿線に花桃等を植栽した。交流人口の拡大に向けて、地域住民が一体となって花街道の整備・管理に取り組んでいただきたい。
26	南信州山岳文化振興事業	一般社団法人 南信州山岳文化伝統の会(飯田市)	地域住民が南アルプスの素晴らしさに気が付き、南アルプスの登山文化、山岳観光を盛り立てることを目的とし、記録写真の展示会、シンポジウム、登山記録映画と音楽イベント、登山家による講演会等を開催した。 ①会場使用料、展示パネル消耗品代、資料代、講師謝礼、著名人・ミュージシャン謝礼	1,458	649	山岳観光振興を目的とし、写真展やシンポジウムなどのイベントを開催した。引き続き様々な機関と連携し、山岳観光を盛り上げていただきたい。
27	野池親水公園整備事業	野池区(飯田市)	飯田市野池区の「野池親水公園」を地域の観光拠点としてさらに発展させ、観光誘客や地域活性化につなげるため、面積を拡大し、環境を整備するとともに、トイレを設置した。立木伐採やトイレ設置、維持管理は地元住民が自主的、主体的に行った。 ②公園整備	6,005	4,003	昨年の第2公園整備に続き、第3公園を整備した。公園の魅力が高まり、利用者がさらに増加することが期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
28	万古渓谷沢歩きルート整備事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信自動車道の供用開始後の観光素材として、沢歩きツアーを復活させることで観光誘客を図ることを目的とし、危険個所の修復工事を実施しルートを再整備した。 ・整備したルートをPRするためのパンフレットや動画を制作し、観光公社等で配布した。 ・整備したルートを活用し、沢歩き記念ツアーを開催した。 ①ルートマップ制作、PR動画制作、チラシ代、安全用具 ②コース整備工事	3,822	2,593	万古渓谷の沢歩きルートを整備し、ルート完成記念ツアーを実施した。 観光資源としての魅力を発信していくことで、地域内外から多くの人が訪れることを期待する。
29	地域食文化による地産地消推進事業	(株)南信州観光公社(飯田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の開通、三遠南信自動車道の開通を見据え、観光誘客の為に地産地消のレベルアップ等を目的とし、実践事例紹介の研修会を開催するとともに、コンサルティングを行った。 ・地域食材の供給体制整備や南信州独自基準の設定の検討等を実施した。 ①地産地消展示会、研修会講師謝礼、講師旅費、コンサル料	812	569	地産地消の推進を目的とし、講演会の開催や宿泊飲食施設のコンサルティングを実施した。 今後も様々な組織と連携し、食文化を活かした観光誘客に取り組んでいただきたい。
30	南信州シードルツーリズム推進事業	NPO国際りんご・シードル振興会(飯田市)	シードルを南信州地域のブランドとして育て上げ、地域経済を発展させることを目的とした事業を実施した。 (1)「ナガノシードルコレクションin飯田」の開催 (2)「シードルツーリズム」構築に向けた各種取組 ①幅広い関係者を集めた研究集会の開催②南信州地域の有効な観光素材について調査実施③成果報告会の実施④研究集会の結果を着地型観光パンフレットとして制作 ①シードルコレクション開催費、研究集会運営費・講師謝礼、調査費、着地型パンフレット制作、印刷製本費	6,982	4,312	シードルツーリズムの推進を目的とし、イベントの開催やパンフレットの制作等の取組を行った。 引き続き関係機関と連携し、南信州産シードルの振興に取り組んでいただきたい。
31	中央アルプス(木曾山脈)縦走企画、烏帽子岳から越百山登山道整備	松川町	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アルプスの山岳観光振興、登山者の誘客を目的とし、飯島町と共同での烏帽子岳～越百山間縦走路整備を実施し、完成した縦走路を使い記念登山を実施した。 ・烏帽子岳登山道の危険箇所整備を実施した。 ・登山道縦走路整備のための道具保管や、携帯トイレブース、簡易避難小屋としての小屋を整備した。 ・烏帽子岳周辺案内看板を設置した。 ①携帯トイレ、看板整備、登山道整備委託 ②登山道工事、小屋設置	4,550	3,425	昨年に引き続き、中央アルプスへの登山者の誘客を目的とした環境整備等を実施した。 観光施設等とも連携し、山岳観光振興に今後も取り組んでいただきたい。
32	「大相撲峰崎部屋平谷村夏合宿」でスポーツの振興と地域の活性化に繋げる	大相撲峰崎部屋平谷村夏合宿実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平谷村中心に西部地域の広域観光を進めることを目的に、大相撲峰崎部屋の夏合宿を平谷村に誘致し、朝稽古見学会や地域住民と作る「ちゃんこ交流会」を開催した。 ・平谷村の一大イベントである「珍珍幕府」と連携し、相撲イベントや力士とのふれあい会を実施した。 ①相撲講師謝礼、ポスターチラシ代、うちわ、のぼり旗	1,680	1,259	昨年に引き続き、相撲部屋の合宿を誘致し、住民との交流会等を実施した。 南信州地域では珍しい取組であり、今後も相撲部屋とのつながりを通じて地域が活性化されることを期待する。
33	千代まるごとフェスタ(仮称)開催事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信自動車道千代インターの開通に合わせて、観光誘客や地元特産品の情報発信・観光誘客を目的としたイベントを実施した。 ・千代ねぎ、千代幻豚などの特産品や加工品の販売、クラフト市、体験イベント、木工等の体験ブースを出店した。 ・プロ・アマ演奏者、保育園児や小学生による音楽ステージイベントを開催した。 ①発電機リース、音響機器リース、体験イベント委託料、チラシ代	540	431	地元の特産品販売や化石発掘体験、音楽祭等を組み合わせたイベントを実施した。 今後も、地域の魅力を発信する場として、地域内外から多くの人が参加できるイベントを企画していただきたい。
34	地域ブランド「南信州果実酒バレー」の発信	松川町	「南信州シードル」の普及のため、体制整備と発信イベントを行った。 (1)シードル業界新規参入のためのセミナーの実施 (2)ツインアルプスサイダーフェスの開催 ①講師謝礼、チラシ・パンフレット代、飯田線列車借上げ、司会・アーティスト謝礼	1,012	809	昨年に引き続き、生産者・販売者向けのセミナーと、一般向けのPRイベントを実施した。 今後も、町内外の関係機関と連携し、南信州シードルの普及に取り組んでいただきたい。
35	健康な食が健康な体を育む。1人1坪農園(ふれあいガーデン)の推進	松川町	遊休農地の解消や健康な食生活の推進を目的とした事業を実施した。 (1)食育・農地を守る講演会の開催 (2)家庭菜園を身近に感じてもらうための番組制作 (3)町の遊休農地を借り受け、市民向けのふれあいガーデンとして開放 ①講師謝礼・旅費・宿泊費、チラシ代、指導者謝礼、種苗、作業用具資材	645	463	地域の農業を継続させるため、講演会や番組制作による啓発活動を行った。 農業に興味を持つ人が増え、遊休農地の解消につながることを期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
36	～これからの農業を考える～ 松川農業みらい塾	松川町	<p>荒廃農地や農業の担い手不足の解決を目的とし、自立した農業経営者の育成のための農業塾を開催した。</p> <p>(1)経営基盤、経営力強化のための農業経営論講座の実施 (2)消費税やデザインのトレンド、シードル加工用リンゴ、女性目線の農業などをテーマとした特別講座の実施</p> <p>①キュレーター謝礼、講師謝礼</p>	1,186	748	昨年に引き続き、農業経営者育成を目的とした講座を開催した。 新規就農者の増加や農地拡大等の成果が出ているので、卒業生にも積極的に関わってもらいながら継続していただきたい。
37	高校生と地元企業とを「つなぐ」事業	飯田市	<p>・高校生に早い段階で地元就職を意識してもらい、Uターン就職を促進させることを目的とし、メンター(助言者)と呼ばれる支援員が企業に対し、高校生の受入プログラム構築の支援を行った。</p> <p>・昨年の受入企業の成功例の報告会兼受入企業説明会を行った。</p> <p>・受入企業のレベルアップや情報共有のための連絡会や講習会を開催した。</p> <p>①メンター謝礼</p>	2,160	1,688	昨年に引き続き、高校生と地元企業との交流による地元就職の促進に取り組んだ。 今後、より多くの高校生や企業が参加し、地元就職者の増加につながることを期待する。
38	動物愛護週間におけるアルパカの展示・街中回遊事業	環境文化教育機構(株) (飯田市)	<p>街のにぎわいの創造や消費額向上を目的とし、飯田市動物園にアルパカ2頭を市外から借り受け特別展示を実施するとともに、来訪者等にクイズラリーの台紙を配布し、動物園を起点として中心市街地の商店をめぐるとクイズラリーを実施した。</p> <p>①アルパカ賃借、輸送費、仮設獣舎、広報物品、クイズラリー台紙等</p>	534	381	動物園でのアルパカ展示と、商店街をめぐるとクイズラリーを実施した。 多くの人が動物園や商店街を訪れ、地域の活性化につながった。
39	天竜川の水辺から賑わい創出事業	天竜川かわまちづくり協議会(高森町)	<p>かつて船下り観光等で賑わった天竜川の川辺に、再び賑わいを取り戻し、町の観光資源として発展させていくことを目的とし、カヌーやマウンテンバイク、スラックライン等のアクティビティを活用したアウトドアイベントを開催した。</p> <p>①各種アクティビティ講師謝礼、レンタル費用、広告費、会場設営費</p>	1,604	1,164	天竜川の川辺の賑わいを取り戻すため、水に親しむイベントを実施した。 天竜川周辺の賑わい創出に向けて引き続き取り組んでいただきたい。
40	心のデトックスpartⅢ～SDGsを通じた持続可能な村づくり～	売木村	<p>・都会から売木村への若者の移住定住、企業誘致、村内雇用につなげることを目的とし、都市の若者との交流事業に取り組んだ。</p> <p>・活動拠点の魅力を高め若者に訴求していくため、「環境循環型モデルハウス」に改修し、村民から自然と共生するライフスタイルを学んだ。</p> <p>①ワークショップ講師謝礼、大工講師謝礼、ワークショップ資材、誘致イベント広告費、農機重機リース料 ②ウッドデッキ木材、屋根改修工事</p>	3,199	2,461	昨年に引き続き、デトックスハウスを活動拠点として、都会の若者との交流を行った。 3年間の事業成果を活かし、交流人口の拡大に向けて取り組んでいただきたい。
41	南信州の新特産品「柿の果実酒」開発・普及プロジェクト	喬木村商工会	<p>・柿皮の有効活用や農家の所得向上を目的とし、柿を原料とした果実酒という新たな特産品開発を行った。</p> <p>・柿の果実酒を村の新たな特産品として村内で認知してもらうため、地域住民に対し名称募集を行い、お披露目とPRを行った。</p> <p>・各種イベントに参加し、頒布PRを実施した。</p> <p>①柿皮エキス加工費、醸造費、分析評価費、デザイン費、コーディネーター謝礼、商品化アドバイザー謝礼</p>	1,717	1,359	柿の果皮を主原料とした果実酒「柿和飲 鳩十の夢」を開発した。 地域の特産品として定着することを期待したい。
42	阿島傘リバイバル計画	喬木村	<p>・阿島傘の後継者育成や原材料供給体制整備による再興を目的とした事業を実施した。</p> <p>・後継者育成のための講座や研修を実施し、阿島傘製作のすべての工程を村内で実施できる体制作りを行った。</p> <p>①講座道具・材料費、講座講師謝礼、他県講師謝礼、講師旅費、講座参加者旅費</p>	686	532	阿島傘の担い手育成を目的とした講座と、製作した傘の展示イベントを行った。 引き続き、担い手育成や材料供給体制の整備等に取り組んでいただきたい。
43	SDG's推進のためのエシカル消費の発信	一般社団法人 South Heart(飯田市)	<p>・エシカル消費とは、「倫理的な消費活動」という意味合い。その認知度を高め、消費を通じた産業振興を目的とし、マップやフリーペーパーを製作し、街歩きイベントや学習会を開催した。</p> <p>・エシカル消費に力を入れている店舗が来店するエシカルマルシェを開催した。</p> <p>①エシカル消費マップ、フリーペーパー、会場費</p>	1,637	1,227	エシカル消費の普及推進のため、マップとフリーペーパーを製作し、イベントを開催した。 エシカルの理念を多くの人に周知することができた。
44	飯田線で行く南信州の旅	JR飯田線活性化期成同盟会(飯田市)	<p>飯田線の利用促進を目的とし、飯田市中心市街地の店舗で買い物をした客に飯田線臨時列車(飯田～豊橋往復)のチケットをプレゼントし、飯田線の利用促進と中心市街地での買い物促進を図った。</p> <p>①列車借り上げ料、アナウンサー謝礼、施設ガイド謝礼、広告宣伝費</p>	838	481	昨年に引き続き、飯田線の利用促進を目的としたツアーを開催した。 商店街とも連携し、普段飯田線を利用しない人にも飯田線の魅力をアピールすることができた。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
45	天龍ネットワークin 関東事業	天龍村	・天龍村への移住者の増加や、認知度を向上させることを目的とし、住民と協働によるPRイベントを東京で2回開催した。 ・村に興味関心を持ち、実際に村を訪れたい人が増え、来年度の村のイベントへ参加してもらおう計画も進んでいる。 ①会場使用料、広告料、有料道路代	530	423	昨年に引き続き、東京での移住交流イベントを2回開催した。今後も事業を継続し、交流人口や移住者が増えることを期待する。
46	泰阜村男性婚活 チーム自立サポート ・南部地域男性 婚活チーム田舎体 験婚活ツアー	泰阜村社会 福祉協議会	・人口減少、少子高齢化、独身者の増加に対応することを目的とした結婚相談事業を、南部5町村及び飯田市南信濃地区の協働で実施した。 ・婚活事業が継続的に実施される環境を整備するため、婚活参加者が主体的にイベントの設計から運営まで実施できるようサポートした。 ①セミナー講師謝礼、チラシ代、イベントサポート委託、女性参加者旅費、集客広告費	2,400	1,800	昨年に引き続き、南部地域の町村と連携して婚活事業に取り組んだ。今後も周辺市町村と協力して事業を実施していただきたい。
47	豊丘村の「おい しい果物ギュギュ つとビール」開発事 業	豊丘村	・豊丘村の特産品である桃や山葡萄の有効活用、道の駅で販売する目玉となる特産品開発を目的とし、生産者、商工会、宿泊業経営者、NPO、一般住民と実行委員会を立ち上げ、ビール開発に取り組んだ。 ・道の駅や銀座NAGANOを中心とし、開発したビールの販売促進イベントを実施した。 ①開発委託料、ラベルデザイン料、販促物品、ポスター・チラシ代	1,281	960	豊丘村産の桃を使用した「トヨオカフルーツエール 桃の誘惑」の開発とPRを行った。村の新しい特産品として村外の人にもアピールし、地域活性化につながることを期待する。
48	移住人口増加に向 けた南信州広域連 携事業	南信州広域 連合	南信州14市町村が広域的に連携し、人口減少対策としての移住定住促進事業を実施した。 (1)一泊二日の移住体験ツアーの開催(2)都市圏での移住相談イベントの開催(3)SNSや動画サイトを通じて南信州地域の魅力を伝える動画製作 ①移住ツアー業務委託、会場使用料、講師謝礼、広告費、チラシ代、動画制作	5,292	4,232	市町村や関係団体と連携し、移住ツアーと相談会を開催した。引き続き南信州地域全体での移住定住の促進に取り組んでいただきたい。
49	高齢者の生活援 助を支える新たな 人材育成事業	特定非営利 活動法人生活 応援ネット スキップ(飯 田市)	介護保険では適用されない制度外サービスの需要が増加している中、担い手となるボランティアの質・量を高めるため人材を確保することを目的とし、高齢者を支える担い手となる有償ボランティアを育てる有償ボランティア養成講座を5回開催した。 ①講師謝金、会場使用料、テキスト作成謝礼、新聞広告	718	239	高齢者や障がい者等の生活支援を行う有償ボランティアを養成する講座を開催した。引き続き介護支援人材の育成に取り組んでいただきたい。
50	歩く村とよおかプロ ジェクト	NPO法人と よおか総合 型地域ス ポーツクラブ (豊丘村)	信州ACEプロジェクト推進に向けて歩行運動継続のため、健康体操教室、歩行フォームの測定等を行い、日常生活の中で効果の高い、安全な運動環境づくりの定着化を目指した。 ①ウォーキングガイドマップ印刷代 ②歩行測定器	1,158	873	歩行運動の質の向上のため、ウォーキングイベントの開催やガイドマップの作成を行った。多くの人が歩行フォームを測定し、指導を受けたことで、健康に対する意識の向上が図られた。
51	天竜川和船造船 技術の伝承事業	天竜川和船 文化保存会 (飯田市)	地域材や特殊な技術・道具を使用する和船造りを次世代へ伝承し、文化交流へと繋げていくことを目的に、写真でのみ残っている「繋ぎ船」を地域木材を活用して復活させ、技術を継承した。 ①繋ぎ船材料費、防水加工費、チラシ代、HP英語対応 ②舟板教材費	1,794	1,384	昨年に引き続き、天竜川和船の造船技術の伝承と、魅力発信に取り組んだ。技術者の育成には長い年月を要するが、今後も継続して技術伝承や和船文化の保存に取り組んでいただきたい。
52	木育から始まる根 羽村産木材振興 事業	根羽村	「地場材で作る、村のくつろぎスペース」をテーマに、デザイナーの指導のもとデザインに関するアイデアワークショップを実施、プロダクト候補を決定し、地域住民とともに試作品づくりに取り組んだ。また、試作品については、南信州地域振興局のフリースペースに配置した上で使い心地等のアンケートを集計し、地域材を活用したデザイン製品の展開に向けて検討を行う。 ① デザイナーによるコーディネーター料 ② 脱臭集塵機、レーザー加工機	2,137	1,637	デザイナーと連携し、地場材を活用した製品の企画開発を住民協働で行う「デザイン木育」に取り組んだ。今後も、木育を継続するとともに、根羽村産の木材を地域内外へPRしていただきたい。
53	都市農村交流事 業「さはら塾」	豊丘村	都市部の田舎暮らし・田舎体験に興味を持つ層に対し、佐原地区において毎年行っている行事(お祭り、運動会、おやす作り等)へ参加してもらい、地域住民との交流を行った。 ① 委託業者による参加者の募集及び都市農村交流事業『さはら塾』の実施(夏、冬)	499	373	山間地域の集落存続を目的とした都市農村交流を行った。引き続き住民と行政が協働して事業を行い、関係人口づくりに努めていただきたい。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
54	伴野区の歴史の継承を目的とした伴野区誌の編集とDVD作成事業	伴野区地縁団体(豊丘村)	豊丘村伴野区に保管されている資料や神社等に残された2,000冊以上の貴重な文献や資料の整理を、一般区民で組織する伴野区誌研究委員会にて行い、伴野区誌の制作を行った。併せて、偉人「松尾千振」の紙芝居をDVDにまとめ、伝承することで地域コミュニティの重要性を学習する機会を設けた。 ①伴野区誌作成、DVD作成	860	645	郷土愛の醸成を目的に、伴野区誌と天竜川伴野開墾堤防DVDの制作に取り組んだ。区誌やDVDを有効に活用し、多くの人に伴野区の歴史を伝えていただきたい。
55	子どもの健全育成を目的とした「命の授業」事業	ジングルライダー(飯田市)	安全安心な地域づくりや命の大切さを子どもたちに教えるため、交通安全に関する講座と、鹿革を使った交通安全お守りのワークショップなど、参加型の交通安全教室を実施した。 ①交通安全お守り材料費、広報費 ②ワークショップ作業台	1,253	925	鹿革を使ったお守り作りを通して命の尊さを学ぶ参加型の交通安全教室を開催した。この地域ならではの鹿革を活用し、多くの子供たちに命の大切さを伝えることができた。
56	体験型観光振興事業	(株)南信州観光公社(飯田市)	南信州で先進的に取り組んできた体験型観光のさらなる質の向上や、農家民泊等の継承者づくり、関係人口からの定住人口増を目的としたワークショップを開催した。 ①講師謝礼、講師旅費、広報費、会場費、お試ツアー旅費	1,414	1,131	体験型観光の推進や関係人口の創出を目的としたワークショップを開催した。地域連携DMOとして引き続き南信州の観光をリードしていただきたい。
57	サイクリストに優しい遠山郷(JR飯田線を活用した輪行促進)	遠山郷観光協会(飯田市)	サイクリングによる遠山郷の魅力化や観光誘客を目的とし、JR飯田線を利用した輪行サイクルイベントを開催した。また、多くの自転車愛好者に遠山郷を訪れてもらうためのPR動画を制作した。 ①講師謝礼、広報費、動画制作 ②自転車ラック、電動自転車	751	540	サイクリストに優しい遠山郷を目指し、観光振興に取り組んだ。引き続き関係機関と連携し、サイクリストへのPRや受け入れ態勢の強化を図っていただきたい。
58	天龍峡大橋開通記念おもてなし大作戦	天龍峡温泉観光協会(飯田市)	天龍峡大橋を訪れる観光客をもてなすために、橋の開通を記念したTシャツや缶バッジ等のオリジナルグッズや散策マップを製作し、開通イベント等でPRを行った。 ①スタンプ、台紙、チラシ代、遊歩道MAP、ゲスト謝礼、啓発物品、イベントステージ、音響リース	864	647	11月に開通した新たな観光スポットである天龍峡大橋への誘客を目的としたPRを実施した。今回製作したオリジナルグッズやマップを有効に活用し、引き続き魅力発信に取り組んでいただきたい。
59	SDGs×道の駅南信州うるぎの新しい魅力化PJ	売木村	秋から冬にかけての売木村への誘客を促進するため、特産品である木材を利用した囲炉裏を制作した。また、売木村の木材や炭を使ったたき火を楽しんでもらう「たき火カフェ」コーナーを道の駅に設置するほか、木酢液のブランド化を図った。 ①講師謝礼、木材資材、たき火カフェ資材、デザイン料、印刷費	1,211	968	売木村への観光誘客を目的とし、村民と協働で囲炉裏の制作等を行った。売木村ならではの魅力を発信することで、多くの人が村を訪れることを期待する。
60	レンタサイクルを利用した村内周遊ツアー	大鹿村観光協会	大鹿歌舞伎の魅力伝えるために、自転車を活用して大鹿村特有の地形を生かしつつ、村に点在する舞台の歴史を伝えるツアー等、自動車での通行が難しい場所でも、足を止めて自然を感じながら楽しめる観光ツアーのモデルを構築した。 ①ガイド要請、自転車保険、サイクリングマップ・スタンプの作成 ②自転車、ヘルメット等	1,413	981	自転車による地域活性化と観光誘客に取り組んだ。作成したサイクリングマップやスタンプを有効に活用し、自転車に乗って村の観光を楽しめることをアピールしていただきたい。
61	農業担い手移住就農促進事業	南信州・担い手就農プロデュース(飯田市)	Iターン就農者促進のため、東京・名古屋及び南信州で就農移住相談会を開催した。また現地農業訪問会を夏・秋・冬に3回開催し、相談会の参加者を中心として南信州地域の農業の実情を確認してもらい、実移住・就農を後押しするとともに、就農、就業、農業研修と移住の要素をマッチさせた冊子を作成し、相談会等で活用。 ①協力者謝礼、広告費、冊子制作、会場使用料	958	766	昨年に引き続き、移住者・新規就農者の確保に取り組んだ。今後も、市町村等と連携し、地域一体となった移住・就農の促進に取り組んでいただきたい。
62	よこね田んぼの酒づくりによる情報発信&オーナー獲得イベント	特定非営利活動法人 里山ペース(飯田市)	よこね田んぼのさらなる認知度向上により、保全活動の活性化と継続を目的とし、「りんご並木天国」に合わせて、りんご並木のカフェを利用した情報発信イベントを実施。千代地区、よこね田んぼのPRやよこね田んぼ産の日本酒の試飲、特産品の販売を実施するとともに、棚田・酒米オーナーの募集も同時に実施した。 ①施設使用料、広報費、設営機材、講師謝礼	857	553	よこね田んぼ保全活動の情報発信として、日本酒や米を使ってPRを行った。引き続き、よこね田んぼや里山の魅力を地域内外へ発信していただきたい。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
63	ジビエ肉による根羽村地域発信計画	根羽村猟友会	ジビエの供給量の増加や安定を目的に、巻狩り猟で使用する猟犬及びわな猟で使用する罠に発信機を整備し、食肉のロストを減らすための環境整備を実施するとともに、イベント等で根羽村産ジビエ料理のPRを行った。 ①罠用発信機 ②巻狩り用発信機	946	640	ジビエの安定供給を目的に、捕獲体制の強化とジビエ料理のPRに取り組んだ。発信機の整備により鹿の捕獲数が増え、ジビエ生産量の増加につながった。
64	南信多市町村連携 移住&婚活	社会福祉法人 阿南町社会福祉協議会	独身女性をメインターゲットに集客を行い、6市町村の地域住民と協働による移住イベントを名古屋で開催し、婚活マッチングも同時に行った。またイベントに参加した女性向けの移住体験ツアーを実施し、地域の魅力を感じてもらおうとともに移住へのハードルを下げた。 ①集客広告費、会場使用料、チラシ印刷、セミナー講師謝礼、イベント総合委託	2,878	2,277	都市部の女性をターゲットとした移住・婚活イベントを行った。今後も周辺市町村と連携して人口減少対策に取り組んでいきたい。
65	ドローンを活用した地域活性化事業	平谷村	村内にドローンチームを立ち上げ、チームが中心となり防災、観光、農林業、教育等でのドローンの活用を行うとともに、活用方法について先進地を視察した。また市町村や行政関係者向けドローンを活用した地域振興に関する講演会と講習会や、子ども向けドローン教室を開催した。 ①講演会謝礼、チームジャンパー等、練習用ドローン、プログラミング用ドローン ②赤外線ドローン	1,021	691	HIRAYADドローンパイロットチームを立ち上げ、ドローンによる地域活性化に取り組んだ。様々な分野でドローンが活用されることを期待する。
66	まるごと楽しむ下條ライフ体験プロジェクト	下條村	下條村の地域資源である「下條歌舞伎」や「カッセイカマン」、「そば」を活用し、体験を通じた移住定住促進事業を実施した。また、立命館大学の学生のフィールドワークの様子を撮影し、移住PR動画として整備した。 ①歌舞伎講師謝礼、そば体験調理機材、広報費 ②歌舞伎体験用かつら	2,053	1,575	村の地域資源を活用し、都市農村交流を実施した。今回制作した動画を有効に活用し、引き続き移住定住の促進に取り組んでいきたい。
67	南信州地域の子ども支援のためのネットワークづくり事業	南信州子ども応援プラットフォーム(飯田市)	県、14市町村とNPO、民間団体等で構築した「南信州子ども応援プラットフォーム」のメンバーの協働により、こどもカフェや子育て支援情報を掲載したパンフレットを作成し、南信州の小中学生の家庭等に配布した。 ①パンフレット作成	801	625	南信州地域で子ども・子育て支援を行っている団体の紹介パンフレットを作成し、小中学生に配布した。引き続き関係団体と連携して子どもの居場所づくりに取り組んでいきたい。
68	東京2020オリンピック・パラリンピックへの木材提供を契機に天龍村の木材をPRしよう!	天龍村	・村の昇龍まつりにおいて、バルセロナ五輪柔道金メダリストによる講演会と、天龍村の木材や取組のPRを行った。 ・ハンガープロジェクトで製作したハンガーをスポーツ選手に贈呈し、村と木材のPRを行った。 ・村民によるハンガー製作会を開催し、2月下旬に目標の2,020本の製作を達成した。 ①講師謝礼、旅費	750	562	村産材で手作りしたハンガーをアスリートに届けるハンガープロジェクトに村民協働で取り組んだ。本事業を契機に、天龍村の木材がより一層活用され、地域活性化につながることを期待したい。
69	東京2020巨大操り人形「モッコ」制作現場等見学会開催事業	高森町	2020東京オリンピック・パラリンピックの東北復興プログラムに登場する巨大操り人形モッコの制作を進め、制作現場等の見学会を開催した。 ①講師謝礼、委託費 ②見学環境整備	1,859	1,308	巨大操り人形モッコの制作現場見学会を開催し、東北復興やモッコのストーリーを説明した。地域内外から多くの人が見学会に訪れ、東北復興やオリパラに関心を持ってもらうきっかけとなった。
70	下條歌舞伎の軌跡・映像アーカイブス制作事業	下條村歌舞伎保存会	・下條歌舞伎の担い手である子どもに焦点をあてた記録映像を制作した。ケーブルテレビで放送するとともにHP等へも掲載し、魅力発信ツールとして活用していく。 ・下條歌舞伎の魅力を外に発信するため、下條歌舞伎シンポジウムと歌舞伎にまつわる場所を巡るツアーを開催した。 ①講師謝礼、映像制作	1,602	1,280	下條歌舞伎の保存継承のため、アーカイブ映像の制作や、下條歌舞伎を語る会等の開催を行った。制作した映像を有効に活用し、歌舞伎の保存継承に引き続き取り組んでいきたい。
71	自然体験「あんじゃねの森」づくり事業	泰阜村	・教育目的の学友林「あんじゃねの森」の針葉樹を伐採し、広葉樹林を植林する環境を整備した。 ・整備した森の植林や、森の多様性について考える勉強会を開催し、学習林としての構想を策定した。 ・植林は来年度行い、その後の植林の維持管理は住民主体で実施する。 ②伐採委託費	510	340	自然環境教育の場である村有林「あんじゃねの森」を整備した。今後行われる植林活動や自然体験活動へ多くの住民が参加することを期待する。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
72	南信州の暮らしに息づく民俗芸能カレンダープロジェクト	南信州民俗芸能継承推進協議会(飯田市)	南信州地域の民俗芸能の魅力を伝え、継承気運を高めるため、民俗芸能の開催日を記載したカレンダーを作成し、小中学校の児童生徒、学校、保存会、企業等に配布した。 併せて、こども向けに民俗芸能を解説するホームページを制作した。 ①カレンダー制作、ホームページ制作	442	300	南信州の民俗芸能の開催日を記した令和2年版カレンダーを制作した。 多くの地域住民に民俗芸能への関心を持ってもらうきっかけとなった。
73	震災に強い地域づくり	松尾水城区(飯田市)	・地域の清水や一次避難所などを記した防災地図を作成し、全戸配布するとともに、使用方法について説明会を実施した。 ・防災対策に関する防災講座を3回実施し、整備する備品の使用方法、非常時の簡易ローソクの作成方法などを学んだ。 ・区独自で要援護者台帳を作成し、災害時の技術保持者や要援護対象者を共有する仕組みを整えた。 ①印刷費、防災用具、講師謝礼、台帳ファイル	600	479	住民の防災意識向上を目的に、震災に強い地域づくりに取り組んだ。 防災地図の作成や講座の開催により、住民の防災意識を高めることができた。
74	「未来に繋ぐ☆☆阿智村消防団」消防団イメージアッププロジェクト	阿智村	・消防団のイメージアップ用チラシやポスターを作成し、村内企業等に協力いただき、配布・掲示した。 ・阿智祭において、来場者に消防団活動の体験やチラシ・アメニティ配布等のPRを行い消防団のイメージアップを図った。併せて団員勧誘も実施。 ・消防団のイメージアップのための動画を作成し、ケーブルテレビ等で放送した。 ①PR用物品、チラシポスター ②PR用テント	682	525	住民の防災意識の向上と消防団のイメージアップを図るため、広報活動を実施した。 今後も、消防団の役割や重要性を多くの住民にPRしていただきたい。
75	下條村「自助・共助力」醸成事業	下條村	・住民が持っている防災や危険地区の情報を共有して見える化した地図「地区防災マップ」を作成。全戸配布するとともに、マップの見方や活用方法などについての講演会を行い、自主防災力の強化を図った。 ・小中学生向けの防災教育として、地震体験と防災マップ学習会を実施した。 ①マップ印刷費	577	461	地域の自主防災力を高めるために防災マップの作成と防災教育に取り組んだ。 今後もマップを有効に活用し、防災力の向上に努めていただきたい。
76	よこね田んぼ景観保全 棚田改善維持事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	・棚田の給排水水路の補修工事を行い、入水時に保水され、稲刈り時に排水される棚田を整備した。 ・排水機能が回復することにより、稲刈りしたあとの棚田の活用が可能となるため、1月25日に焚火と星空観察会を組み合わせたイベントを実施し、これまで活用されてこなかった冬季の棚田の魅力向上を図った。 ①イベントチラシ・ポスター ②給排水路工事	3,668	2,449	よこね田んぼの保全と更なる活用を目的に、排水路の整備とイベントを行った。 保全活動や観光・体験イベントに参加する人が増加することを期待する。
77	米川古道の魅力再発見プロジェクト	米川区(飯田市)	・遊歩道の損傷個所の補修を行う。住民が実施できる部分は住民の手で補修し、重機等が必要な個所は業者に委託した。 ・補修が完了した古道周辺の謂れ等を解説しながら、ガイドを行うウォーキングイベントを3月に実施した。 ・遊歩道の存在を内外に発信するため、千代地区ホームページに情報掲載を行った。 ②遊歩道補修工事	2,200	1,466	観光振興や利用者の安全の確保を目的に、米川古道の整備を行った。 より多くの人が米川古道を訪れることを期待する。
78	円満坊環境整備事業	円満坊保存会(松川町)	・枯れ木・支障木の除去と休憩所の設置をすることで、安全と安心を確保する事業を住民参加型で実施した。 ②枯れ木伐採、休憩所設置	693	453	桜の名所である円満坊の枯れ木除去と休憩所の設置を行った。 円満坊を訪れる人の安全の確保や利便性の向上が図られた。
79	「里山クリーンアップ運動」実施事業	泰阜村	・道路清掃効率化のための作業用ブロー(大型送風機)を購入し、各地区に貸し出した。 ・11月24日を村民全体の道路愛護活動実施日として指定し、「里山クリーンアップ運動」を実施。全村一斉の道路清掃活動を展開。 ①エンジン送風機	715	536	ブローを活用し、各地区で村民が道路愛護活動を行った。 里山クリーンアップ運動を今後も継続していただきたい。
80	福島本村棚田保全PRプロジェクト	福島本村棚田委員会(豊丘村)	・棚田下部のため池の機能を維持するため、蓮、レンコン畑に波板を入れて漏水、土手の補強を図った。 ・棚田のオーナー募集の看板の設置とパンフレットの作成を行った。また、県の「信州棚田ネットワーク」に登録し、セミナー、会議にパネルや写真を作成し展示した。 ・景観整備としてのり面に菜の花の植栽を行った。 ①種代、募集看板・チラシ ②ため池補強	971	655	福島本村の棚田の保全活動と、棚田オーナーのPRに取り組んだ。 棚田を拠点として、都市農村交流が活発に行われることを期待したい。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	事業費 (単位：千円)		講評
				総事業費	交付額	
81	令和新時代を拓く 東山道×7summit プロジェクト	阿智村	<p>・古道「東山道」を活用し、案内看板を設置するなど東山道を歴史に触れながら歩ける環境を整備し、阿智村内の4地区を回ることでできるパンフレットマップを作成し、屋神温泉や星の観光客の横展開を促した。</p> <p>・阿智村近隣の7つの山をめぐるバッジがもらえるセブンサミットの取組を発展させ、バッジ保有者に阿智村の魅力を発信してもらった。</p> <p>①パンフレット印刷、バッジ制作 ②案内看板設置</p>	1,825	1,157	昼間の観光コンテンツとして東山道に着目し、山岳観光による誘客に取り組んだ。登山者や阿智村への観光客が増えることを期待する。
82	南信州蝶鮫養殖・ 振興プロジェクト	豊丘村	<p>・蝶鮫振興に同意された関係者でプロジェクトチームを結成し、養殖から料理開発、PR活動等を運営、実施し、蝶鮫養殖技術習得及びブランドづくりに取り組んだ。(1)蝶鮫の養殖を実施した (2)蝶鮫料理コンテストを開催し、特産品開発とあらゆる食べ方の提案を求めた。</p> <p>①稚魚、コンテスト用成魚、謝礼 ②養魚場修繕</p>	1,705	1,075	南信州の新たな特産品づくりとして、チョウザメの養殖、料理開発に取り組んだ。今後さらにチョウザメが普及し、水産業に乏しい南信州の新名物となることを期待したい。
83	みほ多世代交流 促進事業	三穂まちづくり 委員会(飯 田市)	<p>・遊休農地を住民協働により整地し、野芝の植栽を実施した。野芝の隣にはウッドデッキを整備し、子どもからお年寄りまでが安心して過ごせる広場を整備した。</p> <p>・整備する広場において、多世代交流イベントや、山羊とのふれあいイベントを実施した。</p> <p>①講師謝礼 ②整地工事代、野芝代</p>	2,845	1,900	公園の整備を住民協働で実施するとともに、多世代交流イベントを行った。芝の植栽やウッドデッキの設置により、多くの住民に親しまれる公園となった。
84	大鹿村応援団交 流活用事	大鹿村	<p>・村に関心のある方が登録する「大鹿村ふるさと応援団」と住民との交流会やファンミーティングを開催し、地域の活性化について考え取組める機会を設けた。</p> <p>①交流会開催費、講師謝礼、チラシ、カード作成費</p>	145	108	大鹿村ふるさと応援団の団員である村外者と村民との交流会を実施した。応援団制度を活かし、地域外のひととの交流が活発に行われることを期待する。